

プログラム設計で行うこと

プログラム設計 (構造化設計)

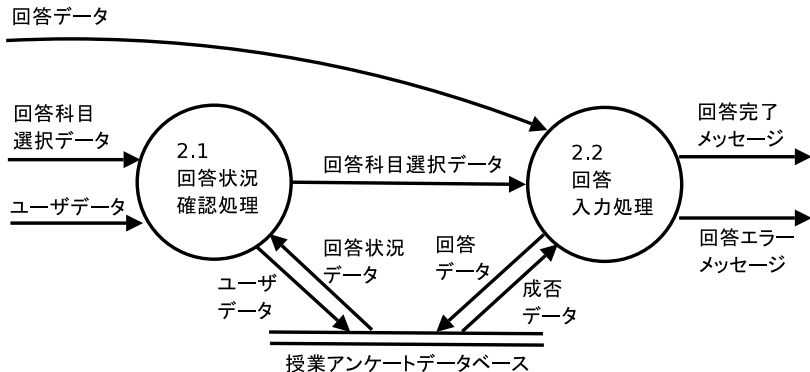
- (1) 最下位レベルのデータフローダイアグラムをバブルチャートとする。
各バブル (頂点) がプログラムの機能を表すことに注意
- (2) STS 分割法と TR 分割法を用いて、モジュール関係を決定する。
- (3) 複雑な機能は部分に分割し、
振分けをするモジュールや入力を得るモジュール、
出力をするモジュールなどを加えてモジュール構造図を作成する。
図中の四角がモジュールに相当
- (4) モジュール間インターフェースを決定する。
 - プログラム名
 - 引数 (数、2 つ以上ある場合は順序、各引数の名前と型)
 - 戻り値 (有無、ある場合は型)

その他に行うこと

- ▶ 分担決め
第 1 レベル DFD を印刷し、手書きで線を引き、担当者を書く
- ▶ 工程決め

データフローダイアグラム

回答処理のデータフローダイアグラム



回答処理のモジュール構造図

